

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名【新】貨物自動車運送事業者燃料高騰支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 商業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3065)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 584,743 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	584,743	0	0	0	0	0	0	0	584,743
決定額	584,743	584,743	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

原油価格高騰等を受けた燃料油価格激変緩和補助金で燃料油価格の高騰抑制策がとられているものの、燃料の価格上昇は続いており、運送に係る燃料費が上がっている。荷主への転嫁が進まない貨物自動車運送事業者に対して、燃料費高騰分の一部を助成することにより、貨物自動車運送事業者の負担を軽減し、輸送インフラを維持することで、県内流通の安定を図る。

(2) 事業内容

岐阜県で登録がされている営業用貨物自動車に対して、車体の大きさに応じて1台当たり定額で助成する。

【対象】 県内に営業所を置く貨物自動車運送事業者

【支給金額】 貨物自動車運送事業者の保有する車両数×補助単価

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10 (新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	531,660	事業者への支援金
委託費	53,083	支給に係る事務委託経費
合計	584,743	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

愛知県：燃料費補助

三重県：燃料費補助

16道府県で貨物自動車運送事業者向けの支援事業を実施

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

本県に交付された交付金を財源として、原油価格高騰に係る支援として実施する経済対策であり、県が当該経費を負担することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

原油価格高騰による燃料費の上昇により、著しい影響を受けた貨物自動車運送事業者に対して燃料費高騰分の一部を支援することにより、貨物自動車運送事業者のほか荷主の負担の軽減を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

緊急的に行う支援であり、指標設定等は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	急激な燃料費の高騰により、厳しい経営環境にある貨物自動車運送事業者や運送事業者等に輸送を依頼する製造業者等の経営コストを軽減する必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 燃料サーチャージの導入など、燃料費の上昇に左右されない体制の整備。

(次年度の方角性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度事業
--